

地震に関する生徒の登下校について

南海トラフ地震等の発生時には大きな被害が予想されています。地震に遭遇したとき、迅速かつ適切な行動をとることが重要です。大地震を想定して、下記のように対応してまいりたいと考えておりますので、協力いただきますようお願い致します。

またご家庭においても様々な場合を想定して、行動の仕方を話し合っておいて下さい。

記

1. 「南海トラフ地震に関する情報」が発表された場合（ラジオやテレビ放送等から知る。）

※ 「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発表・・・状況により下校または休校。
「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」発表・・・下校や休校。

1) 在校中

校内

◆安全に配慮しつつ、速やかに下校させる。

校外（校外学習、修学旅行等）

◆速やかに帰校し下校させる。状況により現地等において避難する。

（状況により保護者に直接引き渡す。）

2) 登下校中

◆速やかに下校する。

子どもの在宅・所在等は、保護者で把握する。

3) 在宅中（登校前、休日）

◆登校させない。

子どもの所在等安全確保は保護者で把握する。

2. 大きな地震が発生せずに解除になった場合

1) 午前7時30分までに解除された場合には、平常の始業時間とするため、すみやかに登校する。

2) 午前7時30分を過ぎて解除された場合には、解除後約2時間のゆとりをもって授業に入る。

◆早く登校した生徒は、自習をして待機する。

3) 午前11時（3限日課等短縮の日は、午前8時30分）を過ぎても解除されない場合は休業日とする。

3. 大地震による発災（被災）時の対応

※校舎の安全確認ができない場合には、本校は臨時休業とする。

1) 在校中

校内

◆避難後体育館（予定）で待機する。通学路の安全確保等状況により地区単位で下校させる。

（被災の状況により、保護者が学校で直接引き取る。）

校外（校外学習等）

◆もよりの安全な場所に避難し、道路等の安全が確保され次第帰校する。

（状況によっては、現地で直接保護者に引き渡す。）

2) 登下校中

- ◆一時的に安全な場所に避難し、様子をみて帰宅する。
 - ・学校の近くまで来ていて、学校の方が安全と考えられる場合には学校へ避難する。
 - ・学校へ避難した生徒については、
通学路の安全確保等状況により地区単位で下校させる。
状況により、保護者が学校で直接引き取る。
自宅の被災状況によっては、避難所で待機する。

3) 在宅中（登校前，休日）等

- ◆自宅で待機する。
 - ・保護者の判断で避難所へ避難することもある。

4. 被災後の授業再開について

- ・学校施設及び地域（通学路等）の安全が確保され次第被災の状況に応じて授業を再開する。
その場合には、学校から地区委員さんの協力を得て連絡を行う。

地区委員・地区班長さんへのお願い

1. 学校・地域相互の連絡の窓口になっていただくようお願いします。
2. 発災時等緊急時には、地域生徒の安否の確認に協力して下さい。電話が不通の場合には、可能な方法で学校へ連絡する努力をして下さい。
(複数の地区委員さんについては、分担しておいて下さい。)

学校も防災組織（対策本部）が確立でき次第、状況に応じて教師が直接地域へ出向いて状況をつかむ努力をします。状況によっては、教師も学校や地域へたどり着けないことも考えられます。状況に応じてご協力下さい。

赤目中学校 ☎ 6 3 - 0 7 0 7

南海トラフ地震に関する気象庁が発表する情報について

*南海トラフ地震臨時情報

- ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合。
- ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合に出されます。

*南海トラフ地震関連解説情報

- ・観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
- ・「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く）

※ すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります。